



青柳園だより

令和3年
2月号
文京区立青柳幼稚園

希望の春を待ちながら

園長 多比良 由恵

小雪が舞い、寒さの本番はこれからの2月です。豆まきが行われる「節分」は、例年2月3日ですが、今年は暦のずれの影響で「立春」と「節分」が例年よりも1日早いそうです(124年ぶりのことだそうです)。暦の上では春ですが、幼稚園では、子どもたちが青柳小学校の校庭をお借りして元気に凧あげをしたり、寒い朝には氷や霜柱を探したり、冬ならではの遊びを楽しんでいます。園内の様々な自然との触れ合いや関わりは、子どもたちの体験を豊かなものにしていきます。

○カメたちの冬眠・・・幼稚園の仲間、カメのカメッピーとカメキングは今、冬眠しています。12月、5歳児ゆり組の子どもたちが、冬ごもりハウスの落ち葉の布団をたくさん集めて、カメたちを寝かせてあげました。春が近づいてくるまでもう少しそのまま・・・、暖かい日差しの頃になったら、ゆり組さんたちが起こしてあげたいと思います。



○大根の収穫・・・1月下旬、ゆり組さんが大根の収穫をしました。子どもたちは、秋に種をまき、毎日水をやり、葉や実の生長を見守りながら、収穫を楽しみにしていました。葉付きの立派な大根を持ち帰り、ご家庭でおいしく食べていただきました。



○冬の園庭の草木・・・よく見てみると、春を待つ可愛い植物の芽をたくさん発見することができます。赤い火のついたロウソクのような木の芽、子どもたちが植えた水仙やチューリップの芽、絹サヤの白い花や小さな実・・・、寒さの中でじっと栄養を蓄えながら、大きく伸びようとしています。



緊急事態宣言が続き、新しい生活様式や穏やかに過ごすことを求められる私たちの暮らしも、冬の今、じっと栄養を蓄え、春を待つ時期なのかもしれません。幼稚園では、「できることは?」「どうすればできる?」と知恵を出し合い考えながら、就学・進級へとつながる大事な2月を、1日1日丁寧に過ごしていきたいと思っています。



もも組

広い校庭で凧あげ

「たくさん走りました!」



ゆり組